

## イノベーションと テクノロジー

スイスには、3つの特筆すべき強みがあります。イノベーション力、レベルの高い教育を受けた高度人材、そして一流の研究機関こそがスイスの強みです。最新のテクノロジーと適切に事業を支える環境も、スイスの生産性に寄与しています。



## 研究開発拠点

画像  
UCBファルヒム、ビュル

### 世界屈指の大学と研究機関

スイスでは、国内総生産(GDP)の3%以上を研究開発費として投資しています。これは世界最高水準に値します。60を超える高等教育機関がこの高いレベルを支えています。これらの高等教育機関は、国際共同研究に密接に取り組んでおり、研究パートナーシップにも参加しています。大学は、産業分野との知識・技術移転に関してもネットワークで結びついています。さらに、イノベティブなスタートアップを支援し、成果の期待されるスピノフ企業を設立しています。スイス内外の各種機関や企業は、卓越した研究プラットフォームとして、また国際的なイノベーションハブとして、スイスが果たす役割を高く評価しています。こうしてみると、数多くの大企業がスイスに本拠を置いていることは驚くにはあたりません。例えば、製薬大手のプリストル・マイヤーズスクイブやロイバントサイエンシズ、デイズニーやグーグルの研究センターなどの企業が軒を連ねています。

スイスでは、就労者の約半数が知識集約型産業に従事しています。ハイテク製品は、スイスの経済的成功と高い評価の礎になっています。ハイテク製品の約4分の1が輸出されています。この数値によって、スイス経済のイノベーション力は太鼓判を押されており、国際比較のうえでも最高位につけています。スイスでは、特許・商標・意匠・著作権を含む知的財産権が法律によって実効的に保護されています。2019年には、8,000件を超える特許がスイスで申請されました。この申請数は、世界第7位に上ります。人口比では、何と世界第1位です。世界最高水準の研究についても、人口比別ノーベル賞受賞者数を見ればすぐにお分かりいただけるでしょう。ここでもスイスは他国に大きな差をつけています。

### 国際協力

重要な研究拠点として、スイスは国外の研究者を引き付けています。世界に名を馳せる多くの研究所が、スイスに本拠を置いています。例えば、欧州原子核研究機構(CERN)、スイス電子・マイクロテクノロジーセンター(CSEM)、ポール・シェラー研究所(PSI)等があります。CERNは、物理学の基礎研究センターとして、世界で最も重要な研究機関のひとつに数えられています。World Wide Webは、1980年代末にこの研究所で開発されたものです。

スイスの研究では、国境を越えて積極的に新たな知識や成果を発信し、国際的な研究交流を展開しています。また、欧州主要国の研究開発ネットワークに参加し、幅広い研究分野に取りくんでいます。スイス連邦工科大学チューリヒ校(ETHZ)では、かつてアルバート・アインシュタインも学び、教鞭をとりました。彼にとどまらず、さらに多くの研究者が輩出されています。ETHZでは、従来より外国人研究者や教員を受け入れており、すでにETHZの伝統となっています。教授陣全体の半数以上を外国人が占めています。



## 世界をリードする 産業と技術

画像  
スマートファクトリー、デジタル マニュファクチャリング、イメージ写真

- 人工知能(AI)
- ロボット工学
- アドバンスド・マニュファクチャリング
- 個別化医療
- ブロックチェーン

### 有力企業のための確固たる拠点

多くの国際的な大手企業が、主要な研究機関が在する高度に産業化された技術の拠点であるスイスに本社を構えることを選択しています。スイスの科学と産業間の優れた連携は、研究開発における迅速な技術移転の実現に貢献しています。ロシュ、ネスレ、ノバルティスのスイス企業3社は、世界時価総額ランキングの上位50社に数えられています。ジョンソンエンドジョンソン、グーグル、日本たばこ産業、メトロニック、アディダスなどの有名企業をはじめとする850社以上の多国籍企業が、スイスに地域統括部門あるいはグローバル本社を構えています。

### ユニークな構造を持つ産業クラスター

スイス国内には、人工知能(AI)分野で世界的に有名な大学や研究所が揃っています。データ保護法制が整っており、最先端の研究が行うことができるため、グーグル、IBM、そしてマイクロソフトなどの大手テクノロジー企業が、AIの研究開発の拠点としてスイスを選択しています。優れた教育を受けたICT技術者の経済への進出率はとても高く、デジタル技術のさらなる成長とイノベーションのための素晴らしい環境を、スイスは提供しています。

機械、電気、金属、時計産業における長い伝統を誇るスイスでは、高度に産業化された精密機器クラスターが発達しています。また、現代のデジタル化時代の中、ロボット工学とアドバンスド・マニュファクチャリング分野をけん引する存在として、世界で高い評価を得ています。ABB、エリコン、シンドラー、ハミルトンなど様々な国際企業が、スイスの既存の生産プロセスにデジタルソリューションをもたらし、最適化しています。

スイスは自国ならではのライフサイエンス産業を形成し、世界的な地位を確立しています。中立的なグローバル拠点として、バイジーン、武田薬品、バイオジェンなどの国際的な化学・製薬企業が、本社・生産拠点を置くことに強い魅力を感じています。スイスは、ライフサイエンス分野における長年の実績を誇っており、ICTに関する豊富な専門知識を有しています。そのため、データとヘルスケアを融合させた新時代の個別化健康医療制度を実現する理想的な環境が整えられています。

スイスの非中央集権的で草の根的な政治システムは、暗号技術にとって理想的な環境だと言えるでしょう。トーク発祥のクリプトバレーは、現在ではブロックチェーン技術の国際的な発展に寄与する世界的なハブとなっています。ブロックチェーン技術は、サプライチェーン管理、保険産業、エネルギー供給およびロジスティクスの分野で用いられています。2021年、新しいDLT法が施行されました。これは世界で最も先進的な法律のひとつであり、革新的なプロジェクトや今までにないビジネスモデルのための基盤を作り出しています。



## 優れた教育制度

画像  
スイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)

### 高い教育を受けた高度人材

実務を重視した優れた基礎教育、著名な私立学校や寄宿学校、世界ランキング上位の総合大学や応用科学大学こそ、レベルの高いスイスの教育風土が成功を収めている要因です。これらの要因から、企業は持続的に利益を得ています。教育レベルが高く、複数の言語に堪能で、意欲と忠誠心にあふれた人材を見つけ、雇用することは、スイスでは困難ではありません。グーグルやオラクルのような世界有数の魅力的な企業が、スイスに拠点を構えているのも納得です。大手の多国籍企業は、地域の大学と密接な協力関係にあり、この高い成果を約束する人材市場から、高度な教育を受けた従業員を数多く採用しています。

スイスの教育制度では、実務志向で着実な職業教育と傑出した高等教育が組み合わせられています。デュアルシステムと呼ばれるこの制度は、スイスのイノベーション力と創造力の基盤を形成しています。若年層の失業率は低く抑えられており、スイスの教育制度が十分に機能していることを裏付けています。

### 世界トップクラスの公立学校と私立学校

スイスの公立学校は高い評価を受けています。その証拠に、PISAなどの国際学力調査において、何度も非常に高い成績を収めています。特に数学においては、統計的にみてスイスの平均値はOECD平均を大幅に上回っています。スイスの大学は、高等教育機関に関する国際ランキングで常に上位を占めています。スイスからは、世界ランキング上位100位に4つの大学が入っています。スイス連邦工科大学のチューリッヒ校およびローザンヌ校、バーゼル大学、チューリッヒ大学などがその代表に挙げられます。とりわけ、ふたつの連邦工科大学はトップ40位内に名を連ねています。

数百の私立学校と寄宿学校が、公立学校と並んでスイスの教育制度をさらに充実したものにしています。国際志向の家庭は、ニーズに応じた学校教育を選ぶことができます。外国企業の社員は、スイスに一時滞在していることが一般的です。こういった駐在員の子どもは、数多くの「インターナショナルスクール」で、母語による教育や国際的な教育を受けることができます。そのため、出身国で有効な修了証書の取得や、学校の卒業に向けて完璧な準備をすることができます。例えば、アビトゥア、バカロレア、米国大学受験資格などの取得が可能です。



## 安全と信頼

スイス経済は、世界で最もリベラルで競争力のある経済です。資本コストの低さ、通貨の安定性、安定した購買力、穏当な税負担、連邦制による政治制度など、経済的・政治的安定性が、スイスにおける投資の高い安全性を保証します。



## 信頼性のある ガバナンス

画像  
フンデスプラッツ、ベルン

### 政治の安定性：ビジネスを育む土壌

スイスの連邦制により、経済界と国民の生活が密接した存在になっています。スイス政府、すなわち連邦審議会は、簡素な構造をとっており、閣僚7名で構成されています。各閣僚は、輪番制により、1年ごとに交代で大統領に任命されます。スイス連邦を構成する26州(カントン)は、広範な自治権を有しています。医療、教育、文化の分野での権限の範囲は特筆すべきものです。市町村にも自治が認められています。およそ2,150におよぶ市町村では、独自税率を決定することができます。スイス国民は、国民投票(レファレンダム)、国民発議(イニシアティブ)や住民投票により、政治過程に直接参加することができます。政治状況が安定しているため、経済に対する信頼性が高く、国民によって支えられた実際的な決断が可能になっています。

### 欧州の中心に位置しながらの独自性

スイスは欧州経済の主要都市から飛行機で2時間ほどの距離に位置しています。ヨーロッパの中心にあり数か国語を公用語とするスイスは、ヨーロッパ4大市場のうちドイツ、フランス、イタリアの3つの市場と隣接しており、異文化の交流が盛んです。これらの3か国の言語は、スイスの公用語でもあります。さらに、住民の多くは、英語を話すことができます。

スイスと欧州は、密接な経済関係を維持しています。欧州連合(EU)はスイスの最も重要な貿易相手国です。スイスから輸出総額の半分以上は、EU圏に対するものです。逆に輸入については、EUからの輸入総額が全体の3分の2を占めています。スイスはEUに加盟していませんが、包括的な自由貿易協定と二国間協定により、物品とサービスの自由な移動が可能です。この協定により、スイスは、約4億5千万人の居住者を擁するEU市場に完全に組み込まれていますが、それと同時に政治的な独立性を保っています。40か国と30におよぶ自由貿易協定を締結したことで、EFTA協定とEUの自由貿易協定が補強されています。スイスの自由貿易政策は最適な枠組み条件を確立しており、主要貿易相手との物品とサービスの取引が行われています。主要先進国との間では租税条約を結んでおり、企業は重複して課税されることはありません。



## 自由な労働市場

画像  
採用面接の様子(イメージ)

### 雇用主と被雇用者：持続可能なパートナーシップ

スイスの労働法は非常にリベラルで、労働市場の規制はきわめて緩やかです。そのため、スイス経済は世界でも最も生産性が高いとされています。失業率は国際的にみても極めて低く抑えられています。雇用主と労働組合の間には、積極的な社会的パートナーシップが維持されています。労使紛争は、交渉の場で解決されます。スイスでストライキが行われることは極めてまれであり、最後にゼネストが行われたのは100年以上も前にまで遡ります。

スイスの被雇用者は、全体に教育水準が高く、豊富な国際経験を持っており、数か国語に堪能です。従業員として意欲的で信頼が置け、献身的だと言えます。スイスは、外国人労働者にとって非常に魅力的な場所です。労働市場への受け入れにあたっては、デュアルシステムの成果を見ることができます。人の域内移動の自由に関する協定(シェンゲン協定)により、EU/EFTA加盟国の労働者がスイスの労働市場に容易にアクセスできるようになっています。その他の国(第三国)からの就労者については、労働許可が、割当方式で配分されています。

### 模範的な社会保障制度

スイスでは、社会保障が綿密に組み立てられています。スイス居住者や就労者とその家族に対し、経済的影響を伴うリスクに対する広範な保障が提供されています。年金制度は3本柱で支えられています。ここには、公的年金・企業年金・個人貯蓄年金が数えられます。個人は、ここで高い自己責任を負うことになります。そのぶん、企業や保険契約者が負担する社会保険料は抑えられています。



## 安定的な 金融・資本市場

画像  
バラードプラッツ、チューリヒ

### 高い安定性と購買力

スイスは、世界トップレベルの購買力を誇ります。安定したスイスフランは、国の経済政策のうちでも主要な基軸となっています。スイスは、経済政策のうえでも通貨政策のうえでも、世界の模範と言えるほど安定しています。価格変動が抑えられており、スイスフランは、世界で最も需要のある準備通貨やポートフォリオ通貨のひとつとなっています。

スイス証券取引所(SIX)では、企業に国際的な投資家と接点をもつ機会を提供しています。資金を求める企業は、長期的視野を持ち、好条件で支援する熱心な出資者を見つけることができます。国もベンチャーキャピタルへの投資に対する優遇措置などを通じて投資促進に向けた環境整備に力を注いでいます。銀行部門での健全な競争は、スイスの金融市場が正常に機能していることの証であり、企業にも大きなメリットをもたらします。

### 安全性とノウハウを誇る、世界をリードする金融センター

ジュネーブとチューリヒは、世界で最も重要な金融センターに数えられます。これは、未来志向の安定した環境がもたらした成果だと言えるでしょう。UBS、スイス・リー、チューリッヒ生命グループといったスイス企業は、プライベートバンキング、アセットマネジメント、保険などの分野で強みを発揮し、世界的に高い評価を得ています。個人顧客も法人顧客も同様に多様な金融・保険商品とサービスを活用しています。スイス証券取引所(SIX)は、国内外の企業に対して大きな魅力を持っており、ライフサイエンス企業にとってはヨーロッパの主要な取引所でもあります。SIXでは、ABB、アルコン、クラリアント、ジボダンのような世界的に人気のある大手グループ企業の優良株式銘柄が取引されています。





## 魅力的な税制

画像  
オンライン確定申告(イメージ写真)

### 国際競争力の高い税制

スイスの連邦税制は、成功例のひとつといえます。税金は、連邦政府、州、市町村で規定され、徴収されます。国内の租税競争は、税負担の軽減に大きな役割を果たしています。2003年に導入された債務ブレーキ制度により、政府は財政均衡を維持することが義務付けられています。税制面で極めて魅力的なスイスの各州は、法人税に関しても、高度人材に対する課税に関しても、他国と比べて優位に立っています。

### 個人と企業に対する穏当な税制

連邦レベルにおいては、企業の純利益に課税される税率はわずか8.5%です。これに州と市町村の法人税を加えると、州によって約12%から約22%の税負担となります。企業が投資プロジェクトによってスイスの特定地域で雇用を創出する場合には、税の減免措置が受けられます。スイスと海外の二重課税については、多くの場合、租税条約に基づき回避できます。米国、英国、ドイツ、フランス、イタリア、中国をはじめとするその他多くの国を含む多くの重要な貿易相手国との間で、こうした協定を締結しています。

建設的かつ実質的な制度は、納税者と納税当局との友好関係を示しています。税理士法人や監査法人により、信頼に満ちたこの関係が評価されています。

税源浸食と利益移転(BEPS)2.0により、OECDでは従来型の企業とデジタル企業の間で税の公平性を向上させることをめざしています。スイスではOECDによる最低課税の方針を採用します。スイス政府は2022年8月に大規模企業グループへの最低課税に関する指令(最低課税指令、MindStV)を発表しました。この指令では主に、補完課税を用いたスイスでの最低課税を規定しています。この新規則は2024年1月1日から施行されます。



## 起業しやすい環境

画像  
ビジネスプラン(イメージ写真)

### 会社設立にあたって煩雑な手続きは不要

企業であっても個人であっても、迅速かつ簡素な手続きで新会社を設立できます。ほとんどの場合、会社設立に要する期間はわずか2週間から4週間で、費用は3,000-9,500スイスフラン程度です。

外国人起業家は非常に歓迎されており、充実したサポートが受けられます。経済自由(旧:事業の自由)の原則のもと、スイスでは誰でも事業を営み、会社を設立し、企業に資本参加することができます。唯一の要件は、会社を代表して署名する権限を持つ者が、スイスに居住していなければならないことですが、その権限保有者がスイス国民である必要はありません。

### 容易な進出

スイス・グローバル・エンタープライズでは、有益なサポートを提供しています。投資を検討中の外国企業に、投資環境に関する全般的な情報や、事業拠点としてのスイスの利点、会社設立手続きなどについてご案内させていただきます。企業の設立計画が明確であれば、該当する州の経済開発局が案件の現地調整を引き受けます。銀行、コンサルタント、信託会社、専門弁護士が個別の問題の解決に当たります。オンラインサポートも充実しています。ビジネスプラン作成のヒントから、商業登記簿への登録に至るまで、多岐にわたって総合的にサポートいたします。

拠点をスイスに移転する企業は、多くの場合、資本金会社、つまり株式会社(AG)か有限会社(GmbH)という法的形態を選択します。スイスの子会社を個人事業体、合名会社あるいは有限責任パートナーシップとして、オンライン手続きによって設立することも可能です。



## 環境と生活

スイスは、有能な人材の創造力と達成への意欲をかき立てます。仕事、イノベーション、創造性、レジャー、家庭、リラクゼーションが、最適に調和しています。活気に満ちた文化的な生活、美しい風景、質の高い不動産や住環境により、スイスはハイレベルな生活を約束します。



## 質の高い生活環境

画像  
ノイエンプルク旧市街、ノイエンプルク  
Vincent Bourrutに著作権帰属

### スポーツ、レジャー、リラクゼーション、文化を堪能

アルプス山脈から肥沃なミッテルラント地方を抜け、地中海の雰囲気を感じるティチーノへ。狭い空間でありながら、スイスの景観の多様性は住民や来訪者を魅了します。夏には澄んだ湖や川で泳ぎ、爽やかな空気を満喫できます。近隣都市への移動も非常に容易です。短い距離のおかげで、どの地点であっても、電車、バス、車や船に乗りさえすれば、迅速かつ簡単に、移動を行うことができます。チューリヒ、ジュネーブ、バーゼル、ベルンなどのスイスの主要都市は、大手コンサルティング会社マーサーが発表しているランキングで世界で最も魅力ある都市として上位につけています。スイスが幸福度の高い国のひとつに数えられていることも驚くべきことではありません。

自然やスポーツを愛する人にとって、スイスは理想的な場所です。夏冬を問わず、伝説的なスイスの山々がすばらしい保養地として観光客を迎えています。多言語の世界市民的環境の中で、文化資源も豊富です。博物館・美術館、財団、画廊、祭典その他機関では、スイスと国外の芸術をサポートしています。スイスでは、国際的に名高いカルチャーイベントが数多く開催されています。モントルー・ジャズフェスティバル、ヌーシャテル国際ファンタスティック映画祭、アートバーゼル、ロカルノ映画祭、チューリヒ映画祭などは、代表的な例です。

### セミナーや会議の開催地として最高のロケーション

素晴らしい設備を備えた一流ホテルは、リラクゼーションとウェルネスを求める人だけでなく、セミナーや会議の主催者にとっても魅力的です。世界経済フォーラム(WEF)が、政財界のトップをリゾート地ダボスに毎年集めるのは、決して偶然ではありません。ビジネスイベントのスイス開催を決めた主催者は、多様性と本物の良さを重視していると言えます。さらに、短距離移動が可能のため、濃密な体験ができることも間違いありません。



## 国際的な環境

画像  
国連 (UN)、ジュネーブ

### 多様な価値観への開放性と寛容さ

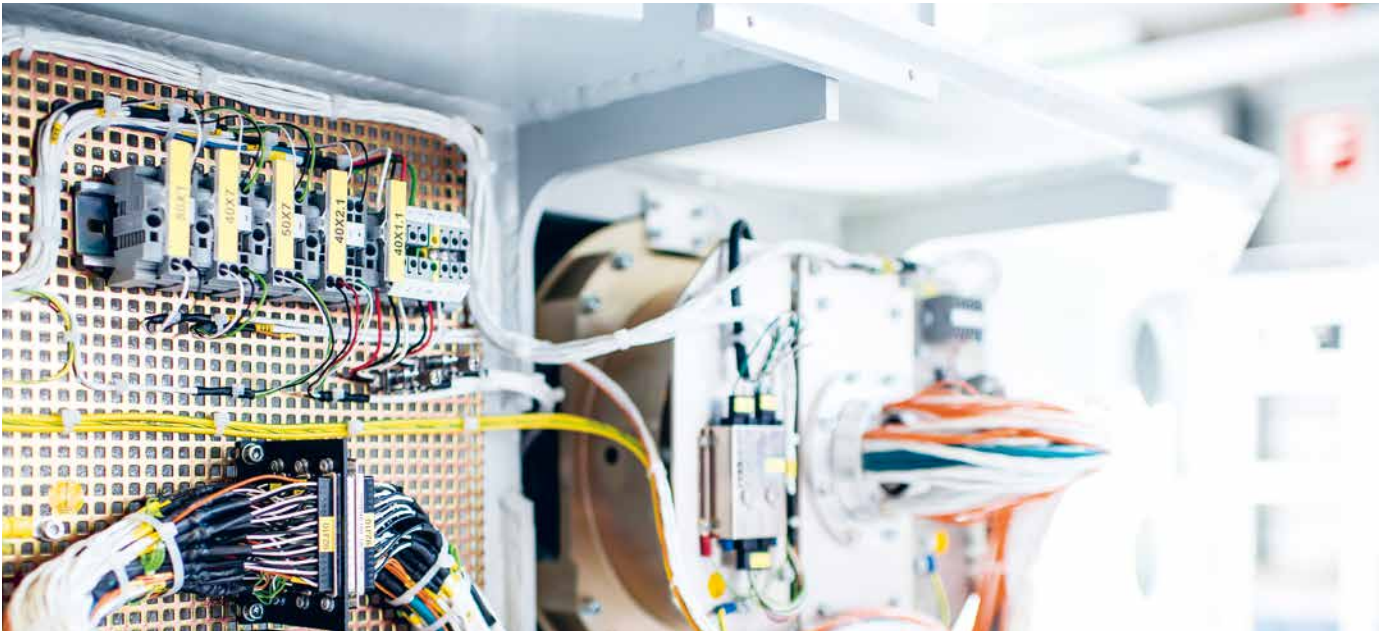
外国人就労者も外国企業も、スイスの国際性を高く評価しています。寛容さ、多言語と文化的多様性がスイスの特徴づけています。スイスは、駐在員に最も人気の高い赴任先に数えられます。外国人就労者と外国企業は、スイスの豊かさに大きく貢献しているのです。

スイスは開かれた国です。3か月までの滞在なら、有効なパスポートさえあれば入国が可能です。国籍によっては査証(ビザ)が必要ですが、その場合は各国のスイスの在外公館で取得します。滞在許可証と永住許可証は、各州の移民局が発行します。スイスに3か月を超える就労目的で渡航する場合には、労働許可が必要です。通常の場合、スイスの雇用主が必要な手続きを行います。

### 中立性と国際協力

外交、人道的取組、国際的ネットワークがスイスの中立政策の中核となっています。2002年以来、スイスは国際連合に加盟しています。2023年から2024年にかけては国連安全保障理事会の一員となる予定です。国連の専門機関には、国連加盟以前から積極的に関与していました。また、欧州自由貿易連合(EFTA)などの国際経済機関にも参加しています。更にスイスは、特定の第三国と外交関係を結んでいない国々の利益を代表しています。

中立国であるスイスは、政治的に配慮が必要な問題を協議する会合や会議の開催地として理想的です。世界保健機構(WHO)や国際連合など、多くの国際機関がスイスに本拠地を置いている理由は、ここににあります。ジュネーブは国際協力において、世界で最も重要な中心地のひとつです。ジュネーブには、多国間の貿易システムの法律上・制度上の基盤であると同時に、グローバルレベルで国家間の通商関係を規律する唯一の機関である世界貿易機関(WTO)も本部を置いています。さらに、国際オリンピック委員会(IOC)、欧州サッカー連盟(UEFA)、国際サッカー連盟(FIFA)のほか、60を超える国際スポーツ組織がスイスに本部を置いています。その多くがグローバル本部や欧州本部です。



## 信頼性のあるインフラ

画像  
アキュトロニック、オルテン

### 欧州の中心でのモビリティと安全性

スイスはまた、交通の便もとても便利です。ヨーロッパ内外の主要都市には直行便が就航しています。チューリヒ、ジュネーブ、バーゼルの3つの国際空港からは、様々な外国航路により、あらゆる目的地にアクセスすることができます。スイスの道路網は整備が行き届いており、世界屈指の密度を誇ります。欧州の主要な幹線道路にもスムーズにアクセスできます。鉄道やバスは、都市部でも郊外でも、正確なダイヤで運行されています。2016年に開通したゴットアルド山麓トンネルは、スイスだけでなく、ヨーロッパ全体にとって非常に重要な経路です。この世界最長の鉄道トンネルは、南北に、人と物をより早く、より頻繁に、そしてより確実につなげます。交通政策面は、大型車両通行の道路から鉄道にシフトしていく予定です。スイスはこのように常に変化するロジスティクスの要件に対応する品質の高いソリューションを提供しています。

自社オフィスビル、テクノパーク、管理業務を行うサービスオフィスなど、企業活動に適した、高級感溢れる、魅力的な不動産が数多く提供されています。外国人による不動産購入に関する規制は、ここ数年で大幅に緩和されました。

### 全国を網羅する安定したインフラ

充実したインフラは、情報化時代を生きる人々の厳しい要求にも応えます。IBMやGoogleなど、世界をリードするIT企業がスイスに拠点を置く理由は、インフラやデータ技術の安全性と信頼性にあります。スイスはさらに、全国を網羅する安定したエネルギーと水の供給網を誇ります。欧州の貯水池と称される豊富な水資源を活かし、再生可能エネルギーである水力を積極的に活用しています。

スイスの医療制度は世界最高水準です。診療所や公立病院、多くの民間クリニックや専門病院で、ハイレベルな医療が高度な訓練を受けたスタッフによって提供されています。スイス人の平均寿命は83才で、世界でも有数の長寿国です。